

第4回「インフラメンテナンス大賞」受賞者

※1 凡例 ア メンテナンス実施現場における工夫部門 イ メンテナンスを支える活動部門 ウ 技術開発部門
 ※2 応募する取組や技術開発が複数の分野にまたがる場合は、最大3分野（主分野1つ、副分野2つ）まで応募することが可能

<総務省>

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	総務大臣賞	ウ	主	情報通信関係施設	日本電信電話株式会社	屋外設備における荷重可視化技術の実用化

<文部科学省>

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	文部科学大臣賞	ア	主	文教施設等	学校法人南山学園南山大学 ほか	南山大学「レーモンド・リノベーション・プロジェクト」によるキャンパスの改修
2	優秀賞	ウ	副	文教施設等	株式会社フィールディックス	フラッシングコアによる副側溝工法 透水不良を起こさない芝生・植栽の排水システム

<厚生労働省>

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	優秀賞	ウ	副	福祉	札幌施設管理株式会社	SPT配管診断による建築物の配管改修・更新工事のコスト削減

<農林水産省>

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	農林水産大臣賞	ア	主	農業農村	株式会社岩田鉄工所	可搬式水門開閉装置「すぐれ門」による水門開閉作業の負担軽減
2	農林水産大臣賞	ウ	主	農業農村	真柄建設株式会社	ICTを活用した曲面形状のコンクリート構造物（固定堰）の改修
3	特別賞	ウ	主	水産基盤等	公益社団法人全国漁港漁場協会	漁港情報クラウドシステム
4	特別賞	ア	主	農業農村	名田周辺土地改良区	施設監視システムのウェブ化による管理省力化にかかる効果検証
5	優秀賞	イ	主	農業農村	特定非営利活動法人グラウンドワーク三島	地域総参加による「源兵衛川」の再生・管理システムの構築
6	優秀賞	ウ	主	農業農村	日鉄ケミカル&マテリアル株式会社	炭素繊維を用いた農業水路無筋コンクリートトンネルに最適化した補強法の開発
7	優秀賞	イ	主	林野	えりも岬の緑を守る会	官民共同による海岸林の維持造成
8	優秀賞	ウ	副	林野	ジビル調査設計株式会社	橋梁点検支援ロボット「視る・診る」による安心で効率的な橋梁点検
9	優秀賞	ア	主	林野	株式会社ホクコク地水	360°カメラによる集水井内点検診断手法
10	優秀賞	イ	主	農業農村	幸野溝土地改良区	持続可能性のある世界かんがい施設遺産「幸野溝」の維持管理の取組み
11	優秀賞	イ	主	農業農村	大和平野土地改良区	先人達の多大な苦勞により確保された農業用水の恩恵を未来に引き継ぐ活動

<経済産業省>

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	経済産業大臣賞	イ	主	電力	関西電力送配電株式会社	設備情報を用いた効率的な更新計画の策定
2	経済産業大臣賞	ウ	主	電力	東北電力ネットワーク株式会社 ほか	AIを活用した送電鉄塔の腐食劣化度診断システム開発・運用
3	特別賞	ウ	主	ガス	東京ガス株式会社 ほか	レーザーを用いた遠隔からのガス漏えい検査技術
4	優秀賞	ウ	主	ガス	旭化成株式会社	化学会社各社の設備データ共有化とそれを基にした保温材下腐食の発生予測モデル開発
5	優秀賞	ウ	主	電力	株式会社日立製作所 ほか	パネルの半導体特性を活用した、太陽光発電設備のメンテナンス技術
6	優秀賞	ウ	主	電力	北海道電力株式会社 ほか	コンクリート柱の鉄筋破断診断装置の開発、実用化
7	優秀賞	ア	主	電力	株式会社シーテック	送電鉄塔の保守から生まれた小土木（KODOBOKU）技術
8	優秀賞	ウ	主	電力	北海道電力株式会社 ほか	苫東厚真発電所4号機におけるボイラー保守技術高度化システムの導入について

第4回「インフラメンテナンス大賞」受賞者

- ※1 凡例 ア メンテナンス実施現場における工夫部門 イ メンテナンスを支える活動部門 ウ 技術開発部門
 ※2 応募する取組や技術開発が複数の分野にまたがる場合は、最大3分野（主分野1つ、副分野2つ）まで応募することが可能

<防衛省>

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	優秀賞	ウ	主	自衛隊施設	京環メンテナンス株式会社	RAKUYU-Z工法（不断水水替工法）

<国土交通省>

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	国土交通大臣賞	ア	主	港湾・海岸	宮城県 土木部 港湾課	仙台塩釜港西ふ頭棧橋・観光棧橋災害復旧事業
2	国土交通大臣賞	イ	主	下水道	管清工業株式会社	下水道管内調査のライブ映像公開による下水道の見える化と地域住民との交流
3	国土交通大臣賞	ウ	主	自動車道	東京大学	高速道路のトンネルにおける時速100km走行での覆工コンクリート高解像度変状検出手法
4	特別賞	ア	主	鉄道	東日本旅客鉄道株式会社	トンネル検査の高精度化のこれまでの取り組みと新型トンネル表面覆工撮影車の開発
5	特別賞	ウ	主	鉄道	東日本旅客鉄道株式会社 ほか	機械学習を用いたポイント装置転換異常解析手法の実用化
6	特別賞	ウ	主	河川・ダム・砂防・海岸	株式会社興和	専用架台・懸架装置と2種類のカメラ（全周撮影型・回転撮影型）を用いた集水井内の点検
7	優秀賞	ウ	主	港湾・海岸	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所	棧橋上部工点検用ロボットと診断支援システムの開発
8	優秀賞	ウ	主	鉄道	西日本旅客鉄道株式会社 ほか	トンネル覆工コンクリート剥落防止のためのFRP内巻工の開発
9	優秀賞	ア	主	鉄道	東日本旅客鉄道株式会社 ほか	保守労力低減と持続性を両立した「新しい鉄道林」への転換
10	優秀賞	ア	主	鉄道	東日本旅客鉄道株式会社	鉄道沿線斜面監視のためのIoTセンサの整備
11	優秀賞	ア	主	道路	株式会社日本海コンサルタント ほか	七尾市におけるAI（人工知能）を活用した小規模橋梁点検の実証実験

<総務省（情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞）>

No.	表彰の種類	部門※1	主/副※2	分野	応募者（代表企業・団体名）	応募案件名
1	今回該当なし					

総務省案件

総務大臣賞

応募部門	ウ 技術開発部門	
案件名	屋外設備における荷重可視化技術の実用化	
代表団体名	日本電信電話株式会社	
(概要)	電柱や電力・通信線等で構成されている屋外設備では、荷重の偏りにより発生する傾き・たわみ・ひびを発見するため、日々の点検・巡視によってそれら劣化の有無を1本ずつ目視にて確認している。そこで、本技術は荷重の偏りがどこにどれだけ発生しているかを可視化し、劣化が発生する前に取り除くことで劣化を抑制し、設備の長期安全利用を実現する。加えて本技術は現地に赴いて1本ずつ点検等をする必要がないため、大幅な稼働削減に寄与する。	

※ア メンテナンス実施現場における工夫部門、イ メンテナンスを支える活動部門の大臣賞、特別賞及び優秀賞は無し。
※情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞は無し。